

ノロウイルス及び O157 は、感染力が非常に高いのが特徴である。

症状としては、下痢・嘔吐があるが、それを特定するには時間を要する。

感染した人が嘔吐及び下痢をした時にそれを瞬時に特定できれば対応の仕方は変わってくるが、数時間もしくは数日の判定時間を要するのであれば、それを判定するということはまず不可能である。

その為の備蓄をどうするかということは今現在の科学の水準では難しいのではないかと考えられます。

一番考えられることは塩素系の薬剤。例えば家庭にあるキッチンハイター、これを嘔吐物にかけるということで今のところ最大の効果を発揮しているが、塩素系の薬剤を使うというのは、例えば絨毯の上に嘔吐をしてそこに塩素系の薬剤をかけるとそれがまだノロウイルスなのか O157 なのか解っていない段階で塩素系薬剤をかけた場合絨毯を傷めてしまうということに繋がる。

それは家庭であってもそうであるが、例えばホテルで患者と疑われる人が廊下などの絨毯に嘔吐した場合にノロウイルス・O157 を前提として処理した時、絨毯が台無しになる可能性がある。

それを防ぐには数時間もしくは数日待つ必要があるが、これがもし本当にノロウイルスもしくは O157 であった場合は数時間の時差で拡大をしてしまう。というジレンマがある。

その辺を踏まえながら防護服の備蓄をどうするかということも今後考えていきたい。